

春・ぐるっと石狩湾岸70km

知つてのとおり石狩の5月は花の季節、冬籠もれる長い単色の世界から解き放たれ、総天然色へと移る。戸田記念墓地公園の桜は桁違いのボリューム感で、一度訪れた方は家族恒例の行事となるらしい。厚田・浜益の朝市に観光客は列をなし、来年、厚田の道の駅もオープン予定。市民図書館の桜は満開日ともなると、カメラに収める常連さんたちで結構賑やかしい。▼この季節、もう一つ風物詩となったYOSAKOIソーラン祭りの屋外練習。市内各地で始まった。6月の本祭に向けた仕上げの時期なのだろう。札幌チームの歌と掛け声も勇ましく、新港地域や石狩浜で重奏する。地元はいしかり観光大使の「石狩流星海」を始め、複数チームが頑張っている。踊り手の確保に苦労しているようだが、一冬の室内練習を経て、結束力の高まりは再び見る人々の感動を呼び覚ましてくれるだろう。20年変わらぬ鮭をテーマに地域ぐるみで支える応援団もいて、祭りが次第に商業化する中で清涼感をもたらししてくれる。我田引水とだけで言い切れないものがある。▼海明けはニシン漁に続いて北寄引きとなる。ニシンは1300トンを超える大漁だったが、北寄貝は残念なことに、資源の枯渇化のなかで春漁は禁漁とのこと。しかし案ずることなかれ、真ガレイの唐揚げは絶品だ。「躍動」のシーズンへと誰をも誘う、ぐるっと石狩湾岸70kmへようこそ。(市長)

広告